

ミナミツマジロヒメハマキ

‘*Cydia*’ *leucostoma* (Meyrick, 1912)

図版：下図

開張：♂♀11-15mm. 別名「チャノクロヒメハマキ」「チャノヒメハマキ」。前額は白色。前翅は紫色をおびた褐色で、多数の黄土色の横線をもち、肛上紋は黄土色。

[分布]奄美大島，沖縄島，石垣島。国外ではインド，スリランカ，台湾，インドネシアに分布。

[生態]幼虫は，サザンカなどのツバキ科植物を寄主とする。幼虫は新芽を数枚綴り，強く折り曲げた中に潜む。沖縄では，チャノキの害虫として知られる。幼生期については，駒井ほか（2011）に詳しい。

[寄主植物] サザンカ，チャノキ，イジュ（以上ツバキ科）。

[分類]亜種区分はされていない。本種は，従来シクイヒメハマキガ族の *Cydia* 属とされていたが，幼虫と蛹の形質はヒメハマキガ族の特徴をもつ。属の所属は未解決である（駒井・那須，2011）ため，本書では，‘*Cydia*’としておく。

